

令和3年3月1日

保護者の皆様

コロンボ日本人学校
校長 大森 伸

令和2年度 第2回 学校評価アンケート集計結果と課題に対する改善策について

保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、12月に実施しました今年度第2回目の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。皆様からのご意見と教職員が行った学校評価結果から学校の課題を見つけ、その対応策等について検討させていただきました。

下記は、アンケート結果と今後の学校運営の改善策等を掲載いたしましたので、ご一読いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

赤字:平均3未満 黄色網掛:第1回目の平均を下回った項目

No.	評価内容	評価					平均			
		4	3	2	1	?	保護者		教師	
							第2回	第1回	第2回	第1回
1	お子さんは誰にでも元気にあいさつしている。	2	3	3	0	0	2.88	3.00	3.17	2.60
2	お子さんは人に言われなくても自分から行動できるようになった。	1	6	0	1	0	2.88	3.00	2.86	2.50
3	お子さんは学習だけでなく、何にでも一生懸命取り組んでいる。	1	6	1	0	0	3.00	3.25	3.00	2.80
4	学校は、教育目標や経営方針をわかりやすく伝えている。	4	0	1	0	1	3.60	3.71	3.50	3.50
5	学校は、ホームページや各種たより等で、子供たちの様子や学校の教育活動を伝えている。	4	2	0	0	0	3.67	4.00	3.83	3.83
6	学校は保護者アンケート等の結果を受け、迅速に対応している。	2	3	0	0	1	3.40	3.71	3.50	3.50
7	学校は、学習に適した教室環境、施設設備の整備。充実に努めている。	2	4	0	0	0	3.33	3.71	3.67	3.33
8	学校は、事故防止・感染予防対策等、子供たちの安全確保に十分努めている。	3	2	1	0	0	3.33	3.86	3.50	3.83
9	お子さんは学校生活を楽しいと感じている(言っている)。	4	3	0	0	1	3.57	3.71	3.67	3.60
10	学校は、個に応じた指導を行い、基礎基本の定着に努めている。	4	4	0	0	0	3.50	3.86	3.50	3.67
11	学校は、休校時の学習支援等、迅速かつ丁寧に対応している。	5	2	0	0	0	3.71	3.86	3.83	3.67
12	お子さんは授業がわかりやすいと感じている(言っている)。	4	4	0	0	0	3.50	3.63	3.50	3.40
13	学校は、新学習指導要領に準拠した教育を推進している。	1	2	0	0	3	3.33	3.40	3.50	3.50
14	学校は、英語力を高める教育の充実に努めている。	1	2	2	0	1	2.80	3.17	3.33	3.00
15	学校は、日本文化の継承や異文化理解の教育を行う等、国際理解教育の充実に努めている。	1	2	2	0	1	2.80	3.17	2.75	2.80
16	学校は、子供たちの問題に迅速かつ丁寧に対応している。	3	4	0	0	1	3.43	3.75	3.33	3.60
17	学校は、教育相談やアンケートを通して、子供たちの悩みを把握し、適切に対応している。	3	3	1	0	0	3.29	3.63	3.33	3.50
18	学校は、保護者と連携を図り、子供たちの指導に生かしている。	4	4	0	0	0	3.50	3.71	3.83	3.67
19	今年度からオンラインによる学校の連絡等を行っているが、プリントによる連絡等と比べて、利用しやすくなった。	4	2	0	0	0	3.67	3.50	3.83	3.67

《課題に対する改善策》

【ご意見・ご要望等】

(8)について

○学校にはコロナ下で柔軟にご対応いただき有難く思っています。

●感染予防対策に関して、まだ感染者が増え続けている中での登校は当分難しいと考えているため。

A: 学校では感染予防対策に万全を期していますが、今後も状況に合わせ現在行っている対策を修正していく予定です。また、登校または臨時休校の判断については、各家庭の考え方が様々ありますので、学校としては、子供たちの安全を第一に考え、大使館からの情報をいただきながら、判断していきますのでご理解とご協力をお願いします。

(14)について

●英語教育について。日本人学校とはいえ、色々な児童がいて英語力に差があることから、どうしても英語力がある子供たちには彼らの英語力を維持する、または英語力を高める、という風にはなっていないと思います。

A: 教師が2名(時間講師、派遣教師)いる利点を生かし、特にオンライン授業ではブレイクアウトルームを積極的に活用することで個に応じた指導をできるように2名の教師が連携を密にとり、指導計画や指導体制を整備していきます。

また、英語が得意な子供の力を伸ばしつつ、英語の力がまだ高くない子供に力をつけていくのは、現在の児童生徒数では、難しい状況ですが、希望も取りながら、できる限り個人の能力に応じた英語教育ができるようにCTEのように習熟度別のコース編成を行っていくことも検討していきたいと思います。

(15)について

●国際理解教育について。キャンディアンダンスを学ぶ、よさこいを行う等だけでは理解はできかねると思います。受け身の教育ではなく、もう少し子供が主体になってディスカッション等を行う場とかが多いと良いと思います。

A: 今年度は、新型コロナの影響で、国際理解教育に係わる学習内容をほとんど実施することができませんでした。本来ですと現地校との交流、キャンディアンダンスや水泳におけるイマージョン教育(英語以外の教科等で英語を使って学習)、年間12回のIA授業(今年度は6回のみ)を行い、子供たちの国際感覚を育てる予定でした。来年度は、新型コロナの感染状況次第ですが、できる限り予定の学習内容を実施していきたいと思います。

(19)について

●オンラインでの連絡は良いと思いますが、残念なことにメールの送受信が上手くいかないことが多々あります。そのため、学校側から2度連絡を行わないといかなかったり、受信する側が日をまたいでしまったりしたこともありました。また、Googleクラスルームもたまにオンタイムに受信できないことがあります。その改善が見られると良いとおもいます。

A: スリランカでのメール送信において、ドメインにより相性が悪い組み合わせがあるようです。特にhotmail.comやyahoo.co.jpなどはメールが届かなかったり、かなり遅れて届いたりすることがありました。今後は確実に情報が行き渡るようできる限りクラスルームを利用するとともに時間を決め定期発信するなどの工夫をしていきたいと思っています。

【評価が低かった項目】

(1)について

第1回同様、挨拶については子供たちはできていると思っていますが、保護者の方や教師から見ると、そこまでは至っていないと感じているようです。これは「挨拶」をするのと相手に伝わっているかの違いによるのではと考えられます。子供たちは、「挨拶をしているつもり」ですが、相手にしっかり聞こえていないことが多いのではないかと思います。本校では、挨拶については「誰にでも自分から元気に笑顔で挨拶」を意識するように指導しているので、「挨拶」を除いた「誰にでも」「自分から」「元気に」「笑顔で」の部分がしっかりできていないと捉えています。今後も引き続き児童生徒会の活動や挨拶の仕方や挨拶の大切さ等について学校だよりや学級通信で啓発していきます。

(2)について

子供たちは、行事等を通してずいぶん感じて行動するようになってきました。ただ、これが学校だけでは身についたことにはなりません。今後も学校行事だけでなく、学校生活全般で子供たちに意識させていきたいと思っています。また、学校だよりや学級通信で子供たちが感じて行動した場面を紹介していきますので、ご家庭でも話題として取り上げ、子供たちの成長を評価していただけたら幸いです。